

日本産業衛生学会

近畿地方会ニュース

発行所 日本産業衛生学会近畿地方会
〒 641-0011 和歌山市三葛 580 番地
和歌山県立医科大学保健看護学部内
専用 FAX 番号：050-3737-1042
発行責任者・森岡郁晴（地方会会長）
<http://jsoh-kinki.jp>

第 66 回地方会総会を終え、
本年度後半の地方会活動のご案内

近畿地方会会長 森岡 郁晴



猛暑の候、会員の皆様におかれましては、益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。第 66 回地方会総会が無事に終了しましたので、今回は本年度後半の地方会活動についてご案内させていただきます。

今期は大きな改革が 2 つ進んでいます。代議員選挙に電子投票が導入されることと、大学・部会・研究会の連携プロジェクトです。

これまで、地方会長、監事、代議員の選挙は投票用紙を利用して、代議員選挙後の理事の選挙は電子投票で行われていました。選挙にかかる手間や費用を軽減するために、地方会長、監事、代議員の選挙も電子投票で行えるように、佐藤恭子選挙管理委員長のもとで準備を進めてきました。総会でも報告させていただきましたが、詳細は本ニュースの関連記事をご覧ください。選挙権と被選挙権を得るには 7 月末日までの会費納入が必要です。会員の皆様、今一度ご確認ください。

大学・部会・研究会の連携プロジェクトは、大学の社会医学系研究室の先生方にご協力をいただき、若手の研究者、会員が相互に知り合える機会を提供していただくものです。すでに第 4 回まで実施されてきました。この活動を通して、会員が知り合い、お互いに刺激を受け、その経験を研究に活かしてもらおうと考えています。さらに、大学の若い世代の先生方に産業衛生学会の活動に関心をもっていただきたいと願っています。会員の皆様、どなたでも参加できますので、新しい企画にもぜひご参加ください。

毎年開催しています近畿産業衛生学会は、地方会の重要な学術事業のひとつです。第 58 回近畿産業衛生学会は、11 月 10 日（土）に岩根幹能学会長のもと、和歌山市の和歌山県 JA ビルで開催されます。懇親会では紀州地酒＆果実酒の飲み比べが計画されています。学会は、岩根学会長を中心に準備が進んでいます。午前中は一般演題、午後からは特別プログラムが企画されています。

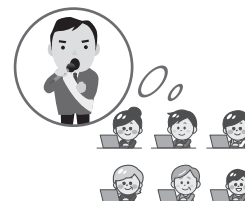
多くの会員の皆様に、近畿地方会優秀演題賞を狙って演題を発表していただきたいし、午後からの魅力的な特別プログラムへの参加もお待ちしております。

さらに、第 23 回近畿産業医部会研修会が 9 月 29 日に開催されます。また、産業看護部会の第 2 回研究会（平成 31 年 2 月 9 日）、近畿産業衛生技術部会の総会（第 58 回近畿産業衛生学会開催時）も企画されています。このように、地方会の活動は、本年度後半も活発です。このような活動の情報は、近畿地方会ニュースやホームページから入手できますので、会員の皆様にもぜひご参加いただき、日頃の産業保健の研究や活動に活かしていただければと思います。

本年度後半も地方会活動へ会員の皆様が積極的に参加されることをお願いします。



総会・シンポジウム会場の様子。206 名が参加。

総会・特別講演
山田長伸先生

今年度より電子投票となります。
詳細は P6 をご覧ください。
7 月末日までに会費納入を。

平成 30 年度総会議事録

日 時：2018 年 6 月 16 日（土）13：00～13：50

場 所：大阪市立大学医学部学舎 4 階大講義室

1. 開会

2. 地方会挨拶

3. 昨年度物故会員の報告

小林義明氏、新池圓氏、住野公昭名誉会員、
松村典行氏、三木哲雄氏

4. 黙祷

5. 議長選出

志摩 梓会員（平和堂）を選出

6. 総会成立の確認

6 月 1 日現在の地方会員数 1,363 名のうち出席 32 名、
委任状 417 名で、会員の 5 分の 1 以上の出席により
総会が成立（地方会会則第 18 条）していることを
確認した。

7. 議事録著名人選出

前田宏明会員（全日本空輸）を選出
平田真以子会員（クボタ）を選出

8. 議事

1) 平成 29 年度近畿地方会事業報告

森岡地方会会長から、地方会ニュース第 114 号
（以下、総会資料と略）の 4 頁と 5 頁に掲載され
た事業報告案に基づいて説明があった。

2) 平成 29 年度決算報告

中西地方会副会長から、総会資料 3 頁に掲載さ
れた収支報告書に基づき説明があった。

3) 平成 29 年度監査報告と監査意見

日高秀樹監事から、大脇多美代監事と事務局・
事務局支局立ち合いで必要書類を監査した結果、
適正に管理されている旨の報告があった。監査報
告を受けて 1) と 2) が一括承認された。

4) 平成 30 年度事業計画案

森岡地方会会長から総会資料 6 頁に基づいて説
明があり、異議無く承認された。

5) 平成 30 年度予算案

中西地方会副会長から総会資料 3 頁に基づいて
説明があり、異議無く承認された。

6) 第 58 回近畿産業衛生学会（2018 年 11 月 10 日・ 和歌山県 JA ビル）の進捗状況

岩根大会長から、基調講演・シンポジウム・教
育講演・ランチセミナーを企画している等、準備
が進んでいる旨の報告があった。

7) 第 57 回近畿産業衛生学会の報告

森岡地方会会長から第 57 回近畿産業衛生学会
の報告があった。

8) 選挙管理委員会からの報告

佐藤選挙管理委員長から、本年度に役員選挙を
電子投票で実施すること、それとともなって近畿
地方会選挙細則改正を幹事会で承認したことの報
告があった。改正点は以下の通りである。

代議員の被選挙人は、推薦を必要とし、代議員
の電子投票選挙に先立ち、代議員の被選挙人の推
薦を行う。代議員推薦期間は平成 30 年 8 月 5 日
（日）まで。自薦、他薦可。被推薦者の数は最大
計 20 名までとする。

9) その他

大学・部会・研究会の連携プロジェクトについて
森岡地方会会長から第 4 回研究室訪問の開催報告
と、第 5 回研修訪問の準備状況について報告が
あった。

9. 議長解任

10. 閉会

質疑応答（※詳細は地方会ホームページをご確認ください）

監査報告

私達は平成 29 年度の経理における近畿地方会の職務の遂行を監査するため、
地方会長と事務局員から事業の報告を聞き、重要な経理関係書類を閲覧し、
その他必要と思われる方法を用いて監査した結果、次の通り報告します。

1. 平成 29 年 3 月 1 日から平成 30 年 2 月 28 日までの収支報告書に記載さ
れた、平成 29 年事業年度の収支は適正に表示されているものと認めます。
2. 事務局の職務遂行に関する不正の行為、または法令もしくは定款に違反
する事実の有無については、指摘すべき事実はなく、適切かつ効率的な職務
遂行がなされたものと認めます。

以 上

公益社団法人 日本産業衛生学会
近畿地方会

平成 30 年 4 月 14 日

監事 日高秀樹 

平成 30 年 4 月 14 日

監事 大脇多美代 

平成 29 年度近畿地方会収支報告および平成 30 年度予算（案）

1. 収入の部

科 目	29 年度予算額	29 年度決算額	30 年度予算額	摘 要
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収益	400,000	447,500	400,000	
協賛金等収益	0	0	0	
参加登録料収益	400,000	447,500	400,000	総会特別講演等当日参加費
受取補助金等	1,890,000	1,985,982	2,000,000	
受取本部助成金	1,890,000	1,985,982	2,000,000	1,500 円×1,333 人
受取負担金	2,000,000	2,070,000	2,000,000	
受取活動費	2,000,000	2,070,000	2,000,000	2,000 円×1,035 人
雑収益	3,300	32	200	
受取利息	300	32	200	
雑収益	3,000	0	0	
経常収益計	4,293,300	4,503,514	4,400,200	

2. 支出の部

科 目	29 年度予算額	29 年度決算額	30 年度予算額	摘 要
事業費	3,360,000	3,853,523	4,350,000	
臨時雇賃金	100,000	30,000	60,000	第 65 回特別講演・シンポジウム受付
会場費	180,000	141,233	150,000	第 65 回特別講演・シンポジウム会場費
旅費交通費	10,000	0	10,000	
通信運搬費	20,000	13,032	20,000	
印刷製本費	50,000	167,216	120,000	
懇親会費	0	0	0	
消耗品費	10,000	6,368	10,000	
機関紙印刷費	550,000	570,240	700,000	地方会ニュース印刷費
機関紙編集費	100,000	0	0	地方会ニュース編集費
機関紙発送費	550,000	470,579	600,000	地方会ニュース発送費
研究費	100,000	67,908	100,000	
諸謝金	100,000	65,000	100,000	第 65 回特別講演・シンポジウム講師謝金等
学会助成金	0	0	0	
協議会助成金	0	0	0	
大会研修会助成金	500,000	617,597	500,000	近畿産業衛生学会助成金＋余剰金
部会助成金	450,000	200,000	450,000	150,000 円×3 部会
研究会助成金	100,000	100,000	100,000	50,000 円×2 研究会
委託費	160,000	1,024,000	1,050,000	総会・地方会ニュース発送に係る委託費
開発保守費	370,000	370,000	370,000	HP 関連
雑費	10,000	10,350	10,000	振込手数料等
管理費	1,430,000	804,049	1,249,600	
給料手当	0	0	0	
理事幹事会費	150,000	229,414	250,000	
旅費交通費	100,000	74,700	100,000	
通信運搬費	10,000	43,607	40,000	総会・代議員会出欠はがき受取手数料
役員改選費	400,000	18,856	400,000	
印刷製本費	0	64,962	60,000	総会・代議員会出欠はがき印刷費
消耗品費	10,000	0	10,000	
委託費	740,000	369,600	369,600	幹事会に係る委託費
雑費	20,000	2,910	20,000	振込手数料・残高証明書発行手数料等
経常費用計	4,790,000	4,657,572	5,599,600	
当期一般正味財産増減額	-496,700	-154,058	-1,199,400	
一般正味財産期首残高	5,093,330	5,093,330	4,939,272	
一般正味財産期末残高	4,596,630	4,939,272		

平成 30 年度 第一回幹事会議事録

日 時：2018 年 6 月 16 日（土）10：50～12：00

場 所：大阪市立大学医学部学舎 4 階中講義室 1

出 席：森岡・中西・井上・圓藤（吟）・久保田・鈴木・
廣部・大脇・日高・伊藤・上原・圓藤（陽）・清原・
佐藤・鮫島・竹下・豊川・濱田・藤岡・藤吉・
村田・岩根

欠 席：堤・丸山・森口（順不同・敬称略）

1. 昨年度物故会員の報告（総会議事録参照）**2. 議事**

- (1) 平成 29 年度近畿地方会事業報告
- (2) 平成 29 年度決算報告
- (3) 平成 29 年度監査報告と監査意見
- (4) 平成 30 年度事業計画案
- (5) 平成 30 年度予算案
- (1) から (5) はいずれも異議なく承認された。
- (6) 代議員の選出・細則の改正
- (7) 大学・部会・研究会等との連携プロジェクト
- (8) 第 58 回近畿産業衛生学会の進捗状況
- (9) 第 60 回近畿産業衛生学会の開催地について
- (10) その他
 1. 近畿地方会総会の学術講演会プログラムについて
 2. 地方会ニュースの発行状況と HP 更新状況
 3. 本部理事会報告
 4. その他

※詳細版を地方会ホームページに掲載いたします

平成 30 年度 第一回代議員会議事録

日 時：2018 年 6 月 16 日（土）12：10～12：50

場 所：大阪市立大学医学部学舎 4 階中講義室 1

1. 開会**2. 地方会挨拶****3. 昨年度物故会員の報告（総会議事録参照）****4. 議長選出**

志摩 梓会員（平和堂）を選出

5. 代議員会成立の確認

6 月 1 日現在の地方会員数 109 名のうち出席 30 名、委任状 54 名で、現在数の過半数出席により代議員会が成立（地方会会則第 13 条）していることを確認した。

6. 議事

- 1) 平成 29 年度近畿地方会事業報告
- 2) 平成 29 年度決算報告
- 3) 平成 29 年度監査報告と監査意見
- 4) 平成 30 年度事業計画案
- 5) 平成 30 年度予算案
- 6) 第 57 回近畿産業衛生学会の報告
- 7) 第 58 回近畿産業衛生学会の進捗状況
- 8) 選挙管理委員会からの報告
- 9) その他

7. 議長解任**8. 閉会**

※詳細版を地方会ホームページに掲載いたします

【訃報】住野公昭先生ご逝去のお知らせ

住野公昭先生（神戸大学大学院医学研究科名誉教授、元・甲南女子大学人間科学部・看護リハビリテーション学部教授、元・中央災害労働防止協会大阪労働衛生総合センター所長、享年 79 歳）は、最近健康が優れず、入院、退院を繰り返しておられましたが、平成 30 年 3 月 5 日、ご自宅にて、ご家族に見守られながらご逝去されました。謹んでお悔やみを申し上げますとともに、学会員の皆様にご報告申し上げます。ご存知のように、住野先

生は水俣病、イタイイタイ病の機序解明に貢献され、産業保健の現場における四アルキル鉛の規制に関しても尽力されてこられました。これからも後進をご指導いただけるものと思っていましたので残念でたまりません。ご冥福をお祈り申し上げます。

神戸学院大学総合リハビリテーション学部教授
西尾 久英

総会特別講演「働き方改革における産業保健活動と法的諸問題」を拝聴して

パナソニック産業衛生科学センター



宮 上 浩 史

最新の裁判例の紹介を含め働き方改革について御講演いただいた。山田先生ら実務家や法学者が労働者の健康を守るため法制度のあるべき姿を日々研究されている。これら労働法の最新の考え方を踏まえながら我々も産業保健活動を実践することが望まれる。

働き方改革について私見を述べる。まず、時間外上限規制は過労死ラインをほぼコピーしている。働かせてもよい基準と使用者に受け取られてしまうと過労死ラインまでの労働を強いられる恐れがある。次に、専門性の高い労働者は労働時間規制を除外するという。しかし成果で評価する働かせ方こそ労働時間を規制する必要があるといえる。労働者は大きな成果をあげ高い賃金を獲得するために働きすぎるからである。今回の改革に対峙して、家庭生活や社会生活のための生活時間をまず確保し、次に労働時間の設定を考えるという新しい労働時間規制（生活時間アプローチ）が労働法学者から主張されている。このアプローチでは時間外労働を1日2時間に制限（これはフランスの最長労働時間が10時間であることと親和性を持つ）して、さらに時間外労働を賃金で清算するのではなく別日に2時間労働を減じて調整（時間調整原則）する。賃金収入は激減するがうるおいのある生活確保には魅力的かつ妥当な方策である。

既に長時間で過酷な労働を強いるばかりで、中長期的な視点から人材をしっかりと育て、企業の将来の成長に備えていく姿勢がない企業から若手から逃げだしているとの指摘がある。労働人口の激減により転職が容易となり個人を一生会社に縛り付けておくことができない時代にもなっている。労働者の個別のニーズに企業が歩み寄ることができる人事制度に改善して人材を確保することが企業生き残りの必須条件となりつつあるといえる。

第66回近畿地方会総会シンポジウムを拝聴して

(株)クボタ人事部健康管理室



平 田 真以子

産業保健活動において知っておくべき法的課題と、最近の労働判例の傾向や対策を学びたく、シンポジウムを拝聴いたしました。約220名と多くの参加者が熱心に受講されており、産業保健スタッフの関心が高いテーマであることを実感いたしました。

シンポジウムでは、森本産業医事務所の森本先生と、積水化学工業(株)人事部健康推進室の保健師荒木先生が「職域産業保健活動と法的課題・疑問点～これでいいのだろうか?～」というテーマで、ご講演くださいました。

まず、森本先生は産業医の立場から「産業保健と法律・判例についてメンタルヘルスの復職時を念頭に」をお話くださいました。復職の流れについて、それぞれの段階での産業保健スタッフの悩み事を整理し、対応のヒントをお教くださいました。また、法的に「コミュニケーション力」の回復をどのように判断するか? 合理的配慮をどのように踏まえるか? など、ほんやりとしていた日々の疑問を明確化し、実際の判例を示しながら解説くださいました。

次に、荒木先生は産業看護職の立場から「個人情報保護法改正にともなう健康情報の取り扱い」についての事業所における諸問題への取組み、対応策をご紹介くださいました。そして産業保健における疑問と課題「努力義務をどこまで果たせばいいのか?」「罰則規定がない法律の順守は難しい?」等をご提示くださいました。それらの疑問に対し、弁護士の方から山田先生から努力義務であっても民事上の問題も合わせ考えると責任が及ぶことがありうること、罰則規定はなくてもインセンティブを与えて健康意識を高める働きかけができるのでは? など法的な知見と前向きなアドバイスをいただき大変勉強になりました。

座長の藤吉先生がコメントされたように「恐れすぎず、適切に対応できる」よう学び、法的な諸問題も念頭におきつつ、これからの従業員に丁寧に誠実に対応していきたいと思いました。

近畿地方会役員選挙公告

- ① 次期地方会長、次期監事、次期代議員の選挙を電子投票で行います。
- ② 会員の皆様、日本産業衛生学会ホームページの会員のページにログインし、左側の「プロフィールの変更」をクリックして、メールアドレス・勤務先・自宅住所などの変更があれば最新のものに更新していただきますようお願いいたします。
- ③ 代議員の被選挙人は、推薦を必要とします。よって、代議員の電子投票選挙に先立ち、代議員の被選挙人の推薦を行います。選挙管理委員会は平成30年6月末時点の地方会員に、会員番号・氏名・所属府県からなる平成30年6月1日時点の名簿を郵送します。この名簿から代議員推薦候補者を平成30年8月5日（日）までに近畿地方会ホームページ（<https://jsoh-kinki.jp/>）にアクセスしていただき、推薦フォーム（https://jsoh-kinki.jp/kinki-08/kinki-08_2/）から選挙管理委員長（佐藤）にお知らせください。推薦の方法は i) お手元に届いている名簿を参考に、推薦者であるご自身の会員番号および被推薦者の会員番号を入力してください。自薦、他薦可です。ii) 1つのシートには被推薦者10名まで入力できます。11名以上推薦する場合は、一度データを送りいただき、その後、同様の方法で、残りの方を推薦してください。被推薦者の数は最大計20名までとします。
ただし、今回推薦された方が下記*条件を満たさない場合は、8月15日頃に中央選挙管理委員会から届く被選挙人名簿に被選挙人として名簿登録されておりません。よって対象外となり、被選挙人にならないことを申し添えておきます。
*平成29年度より引き続き正会員であり、かつ7月31日までに会費を全納した正会員
- ④ 平成30年8月8日（水）正午までに、次期地方会長と次期監事の自薦他薦候補者を電子メール（kinkisenkyo@sanei.or.jp）に届出用紙を添付あるいは必要事項を本文に記載して選挙管理委員長（佐藤）にお知らせください。立候補、推薦の届出用紙は近畿地方会ホームページから入手できます。候補者を推薦される場合（他薦候補者の場合）、その候補者の日本産業衛生学会の会費納入状況（会費未納

の場合、被選挙権が与えられなくなります）と当選時の受諾意思について御確認いただき、そのこともお知らせください。なお、地方会長と代議員の選出は独立ですので、地方会長が自動的に代議員になるわけではありません。

- ⑤ 平成30年9月21日（金）までに、選挙管理委員会は地方会員の選挙人*に、地方会長候補者と監事候補者の氏名と代議員被選挙人の会員番号・氏名・所属府県からなる名簿を郵送します。
*平成29年度より引き続き正会員であり、かつ7月31日までに会費を全納した正会員
平成30年9月22日（土）になっても届かない場合は電子メール（kinkisenkyo@sanei.or.jp）あるいはファックス（06-6646-0722）で選挙管理委員長（佐藤）までお問い合わせください。
- ⑥ 投票期間は、平成30年9月25日（火）0:00～平成30年10月11日（木）23:59です。投票率アップのため、会員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。
- ⑦ 平成30年10月13日（土）に開票作業を行います。ここで、地方会長、監事、代議員が決まります。
- ⑧ 平成30年10月31日までに、選挙管理委員会は、新地方会長と新監事と新代議員の名簿を作成し、中央選挙管理委員会に提出します。
- ⑨ 公益社団法人である日本産業衛生学会は、内閣府に代議員名簿を提出しなければなりません。代議員名簿を提出する際には、自宅住所が必要になりますので、②の要領で確認・登録をお願いいたします。
- ⑩ 平成30年11月に、選挙管理委員会は、新代議員に理事候補者互選のための新代議員名簿を郵送します。理事候補者選挙も電子投票での投票となります。投票締め切り後、選挙管理委員会が開票して確定します。
- ⑪ なお、選挙に関し変更が生じた場合は近畿地方会ホームページ（<https://jsoh-kinki.jp/>）上にその旨掲載いたしますので、適宜ご確認下さいますようお願い申し上げます。

選挙管理委員長 佐藤恭子
選挙管理委員会事務局長 津田恵理

日本産業衛生学会近畿地方会選挙細則（2018年6月改正）

- 第1条 日本産業衛生学会定款第8条ならびに第26条による「役員の選任に関する細則」、「代議員の選任に関する細則」、「地方会に関する細則」、「選挙管理委員会に関する細則」、及び近畿地方会会則第8条に基づき、地方会会長（以下「会長」という）、理事候補者、代議員、地方会監事（以下「監事」という）を選出するため本細則を定める。
- 第2条 会長、代議員、監事の選任に関する選挙資格・被選挙資格は「代議員の選任に関する細則」第2条が定める地方会会員に限られる。
- 第3条 会長、代議員、監事選出の方法と定数
 1. 会長、監事、代議員の投票は、電子投票システムにより行う。
 2. 会長、監事選挙については、立候補もしくは本人の承諾を得て推薦され、地方会選挙管理委員会が作成した被選挙人名簿による。
 3. 会長については1名まで投票できる。期間内に届け出た候補が1名の場合、無投票当選とする。
 4. 監事については2名まで投票できる。期間内に届け出た候補が1名の場合、その候補は無投票当選とする。不足の人員について公募延長とし1名の投票で決定する。追加候補が1名の場合は無投票当選とする。
 5. 代議員選挙については、推薦され、地方会選挙管理委員会が作成した被選挙人名簿による。推薦された被選挙人が定数未満の場合、無投票当選とし、追加推薦を公募する。
 6. 代議員の定数は「代議員の選任に関する細則」第5条第1項の定めるところによる。代議員については10名まで投票できる。追加選挙も10名までの投票とするが、追加選挙の定数が10名未満の場合は追加定数名までの投票とする。

7. 当選の決定は得票順に定数までとする。
8. 得票が同数の場合、地方会選挙管理委員会がくじにより順位をつける。
9. 代議員選挙において、定数の外、得票順に若干の予備代議員を選任する。

第4条 理事候補者の選出の方法と定数

1. 理事候補者の定数は中央選挙管理委員会の定めるところによる。
2. 新しく選出された代議員は、互選により理事候補者を4名まで電子投票システムによる投票ができる。定数が4名未満の場合は、定数まで投票できる。
3. 監事に決まった者は理事候補者には挙げない。
4. 理事候補者の当選の決定は得票順に定数までとし、以下得票順に若干の予備理事候補者を選任する。
5. 得票が同数の場合、地方会選挙管理委員会がくじにより順位をつける。
6. 理事候補者に選ばれた者が就任の辞退を申し出た場合は、次点の者を当選者とする。

第5条 選挙管理委員会

会長は、「選挙管理委員会に関する細則」第2条に基づき、地方会選挙管理委員会委員として代議員から委嘱する。
地方会選挙管理委員会は中央選挙管理委員会と協力し、以下のことを行なう。

1. 本会選挙全般にわたる公正、民主的な管理運営
2. 選挙人・被選挙人資格の確認
3. 被選挙人名簿の作成、発送
4. 電子投票システムの整備およびそれに関連する作業
5. 開票作業、当選人の決定
6. 会長ならびに中央選挙管理委員会への報告、その他必要な事項

第6条 この細則の改廃は幹事会で行い、代議員会、総会に報告する。

附則

1. 本改正細則は平成13年5月26日より実施するものとする。
2. 本改正細則は平成16年5月29日より実施するものとする。
3. 本改正細則は平成26年6月21日より実施するものとする。
4. 本改正細則は平成28年6月11日より実施するものとする。
5. 本改正細則は平成29年11月18日に改正し、平成30年6月16日より実施するものとする。
6. 本改正細則は平成30年6月16日より実施するものとする。

選挙管理委員会からのお知らせ

1) 代議員の被選挙人は、推薦を必要とします

今年度から近畿地方会では地方会長、監事、代議員選挙を電子投票で行います。電子投票システム上、代議員の被選挙人は1000名以下までになりますので、日本産業衛生学会近畿地方会選挙細則（2017年11月改正）の第3条5「代議員選挙については、**推薦され、地方会選挙管理委員会**が作成した被選挙人名簿による。」に2018年6月の幹事会で改正しました。

代議員の被選挙人は、**推薦を必要とします**。よって、代議員の電子投票選挙に先立ち、代議員の被選挙人の**推薦**を行います。代議員は、日本産業衛生学会の正会員の互選により選出され、選出されると、学会の運営に責任をもち、役員の選任・解任、規程の改正などの重要な役割を担うことになります。代議員は、地方会ごとに選出されますが、地方会では、前述の役割以外にも、年度の予算・決算の承認、事業の確認などの重要な役割を担っています。さらに、地方会の運営を担当する幹事は、代議員から選出されます。このような役割を担当するのにふさわしい方を、代議員の候補者として他薦で下記の方法で選出してください。なお、前述のように代議員は、地方会において重要な役割を担うことになりますので、決して名誉職ではないことをご理解いただき、さらに、選出された場合、年に2回開催されます代議員会に出席できる方を推薦していただきますよう、お願いします。

<推薦の方法>

代議員推薦候補者を平成30年8月5日（日）までに近畿地方会ホームページ（<https://jsoh-kinki.jp/>）にアクセスしていただき、推薦フォーム（https://jsoh-kinki.jp/kinki-08/kinki-08_2/）から選挙管理委員長（佐藤）に知らせてください。

①お手元に届いている名簿を参考に、推薦者であるご自身の会員番号（名前は要りません）および被推薦者の会員番号（名前は要りません）を入力してください。自薦、他薦可です。

②1つのシートには被推薦者10名まで入力できます。

11名以上推薦する場合は、一度データを送りいただき、その後、同様の方法で、残りの方を推薦してください。被推薦者の数は最大計20名までとします。

③当選されたときに代議員を引き受けるかどうかの事前の確認は不要ですが、前述のように代議員としてふさわしい方で、代議員会に出席される方をご推薦ください。

ただし、今回推薦された方が下記*条件を満たさない場合は、8月15日頃に中央選挙管理委員会から届く被選挙人名簿に被選挙人として名簿登録されておられません。よって対象外となり、被選挙人にならないことを申し添えておきます。

*平成29年度より引き続き正会員であり、かつ7月31日までに会費を全納した正会員

本紙に日本産業衛生学会近畿地方会選挙細則（2018年6月改正）、近畿地方会役員選挙公告を掲載していますのでご確認ください。選挙へのご協力の程よろしくお願いいたします。

2) 模擬電子投票を行います

初めて電子投票選挙を行う会員もおられますので、模擬電子投票をすることになりました。別添の「模擬電子投票のご案内」をご参照いただき、**投票期間 平成30年8月7日（火）0：00～8月20日（月）23：59**に電子投票を体験して下さい。お気づきの点がございましたら、近畿地方会 選挙管理委員会（メールアドレス：kinkisenkyo@sanei.or.jp）へメールにてご一報ください。

なお、模擬電子投票に関し変更が生じた場合は近畿地方会ホームページ（<https://jsoh-kinki.jp/>）上にその旨掲載いたしますので、適宜ご確認下さいますようお願い申し上げます。

選挙管理委員長 佐藤恭子
選挙管理委員会事務局長 津田恵理

第 58 回近畿産業衛生学会のお知らせ (第 2 報)

大会長 岩根幹能 (新日鐵住金和歌山製鐵所 / NS メディカル・ヘルスケアサービス)

1. テーマ「ダイバーシティ (多様性を) & インクルージョン (内包する)」

2. 会 場

和歌山県 JA ビル (和歌山県和歌山市美園町 5-1-1)

2 階 和ホール、1 階アグリテラス

JR 和歌山駅中央改札口から徒歩 2 分

3. 日 時

平成 30 年 11 月 10 日 (土) 9 時 20 分開始予定

4. プログラム (日本医師会認定産業医研修単位・産業保健看護専門家制度研修単位申請中)

(1) 基調講演

「パーソナリティ障害とは、いかなる障害なのか？」

演者：花谷隆志 花谷心療内科クリニック 院長

座長：岩根幹能 新日鐵住金 和歌山製鐵所

(2) シンポジウム

「パーソナリティ障害のインクルージョン」

「1 次予防 ～パーソナリティ障害が不適応に陥りにくい職場づくり～」

演者：松田雅美 花王 和歌山工場 保健師

「2 次予防～事例化したパーソナリティ障害への対応～」

演者：麦谷耕一 新日鐵住金 和歌山製鐵所 産業医

「3 次予防～パーソナリティ障害の復職支援～」

演者：長見まき子 関西福祉科学大学 健康福祉学部 教授

「パーソナリティ障害への配慮と限界点」

演者：三柴丈典 近畿大 法学部 教授

座長：栗岡住子 桃山学院教育大 教育学部、
岩根幹能 新日鐵住金 和歌山製鐵所

(3) 教育講演

「加熱式タバコの構造、蔓延の実態、使用者への対応とこれからの喫煙対策」

演者：大和 浩 産業医大 健康開発科学 教授

座長：平田真以子 クボタ 人事部 健康管理室

(4) ランチセミナー

「職員が急性心筋梗塞を発症！さあどうする？」

演者：猪野 靖 和歌山医大 循環器内科 講師

座長：宮川昌也 京都工場保健会 産業保健推進部

(5) 一般演題

(6) 幹事会、代議員会、総会

(7) 企業展示 (1 階アグリテラス)

(8) 懇親会 (2 階和ホール)

5. 事前登録・参加費

(1) 日本産業衛生学会の学会員 1,000 円、非会員 2,000 円、大学院生・学生 1,000 円

当日受付も可能ですが、参加者数の事前把握のため 11 月 1 日 (日) までの事前登録にご協力ください。

(2) 日医産業医研修の単位取得には別途 3,000 円

(3) 懇親会参加費 4,000 円。事前申込制を予定しています (詳細後述)。

(4) ランチセミナーのお弁当をご希望の場合は、11 月 1 日 (日) までにホームページからお申込みください。

6. 一般演題申込

(1) 演題申込

演題の申込は本ニュース同封の「演題申込用紙」あるいは第 58 回近畿産業衛生学会ホームページからダウンロードした「演題申込用紙」に必要事項をご記入の上、平成 30 年 8 月 31 日 (金) までに、FAX (06-7632-4070) または E メール (jsohkinki-58@ohassist.jp) でお申込み下さい。受付完了の返信を送りますので、返信がない場合は運営事務局へお問い合わせください。一般演題の筆頭演者は、日本産業衛生学会の学会員であることが必要です。会員でない方は、入会手続きを事前に行ってください。

(2) 「発表抄録原稿」および「産業衛生学雑誌投稿用 400 字原稿」

第 58 回近畿産業衛生学会ホームページより「発表抄録原稿の作成要項」をダウンロードし、要領に従って作成して下さい。また、産業衛生学雑誌に掲載するための本文 400 文字以内の原稿も Microsoft Word (Windows OS のみ) で作成してください。2 つの原稿を 9 月 30 日までに (厳守：遅れると抄録集の該当部分が白紙になります) 第 58 回近畿産業衛生学会運営事務局まで E メール添付でお送りください (FAX・郵送不可)。

(3) 発表用 Microsoft PowerPoint データ

発表方法は Windows 版 PowerPoint (Office 2007 以降) のみとします。発表用データは学会前日の 11 月 9 日 (金) 正午までに事務局へメール添付でお送り下さい。原則として、当日受付・差し替えはいたしません。動画ファイルをご希望の方は、事前に事務局へご相談ください。画面の解像度は XGA (1,024×768) (4:3) をお願いいたします。

標準フォント以外は正常に表示されない可能性があるため、使用を避けてください。

- (4) 近畿産業衛生学会優秀演題賞と第58回近畿産業衛生学会若手奨励賞

優れた演題を表彰します。また、今回も若手奨励賞を設けます。対象は一般演題の筆頭発表者の内、学生・若手研究者（申込時に40歳未満）に該当する方です。該当者は演題申込用紙の所定の欄に○印をつけてください。

7. その他

- (1) 会場ではWiFiが利用可能です。アクセスキーは当日、1階アグリテラスに貼り出します。
- (2) 企業展示：1階アグリテラスにて開催します。お飲み物を準備する予定です。
- (3) 昼食：ランチセミナーを予定しています。お弁当は事前申込制（締切11月1日）を予定しています。ホームページでご確認ください。
- (4) 懇親会：事前申込制（締切10月25日）を予定しています。ホームページでご確認ください。

お料理は「しなの路」からのケータリングだけではありません。なんと！大阪北新地の超有名店「鮎処 多田」のご主人が包丁を振るいます。「鮎処 多田」は紹介制のため一般には予約が取れません。なぜ和歌山まで来てもらえるのかと、大会長も首をひねる奇跡の企画です。海の幸で酒の肴を作らせたら大阪随一といわれるご主人はフレンドリーでお喋り上手。極上のお鮎を「塩パラわさび」でぜひ味わってみてください。

飲み物は第三回 松尾大社 酒-1 グランプリ優勝「紀土」、南方熊楠の実父が創業者「熊楠」などをご準備します。また、天満天神 梅酒大会グランプリ受賞（天下御免）「鶴梅柚子」をはじめ、めずらしい果実酒を取り揃えます。知名度は低くても意外に美味しい紀州の地酒をご堪能ください。

8. 実行委員：(50音順)

喜多岡蓮美 新日鐵住金 尼崎製造所 保健師
 今野由将 新日鐵住金 製鋼所 産業医
 竹下達也 和歌山医大 公衆衛生学 教授：地方会幹事
 津野香奈美 和歌山医大 衛生学 講師
 長見まき子 関西福祉科学大 健康福祉学部 教授：産業衛生技術部会幹事
 平田真以子 クボタ 人事部 健康管理室 保健師：産業看護部会幹事
 宮下和久 和歌山医大 学長
 麦谷耕一 新日鐵住金 和歌山製鐵所 産業医（事務局長）
 森岡郁晴 和歌山医大 保健看護学部 教授：地方会長、産業医部会幹事

9. 運営：産業保健アシスト（担当：河村沙江子）

E-mail: jsohkinki-58@ohassist.jp

10. 後援：和歌山県医師会、和歌山産業保健総合支援センター

11. 大会ホームページ（QRコード）

<http://jsoh-kinki.jp/jsohkinki-58/>



スケジュール要約

8月31日（金）	一般演題登録締切
9月30日（日）	抄録集用抄録・産衛誌用400字抄録締切
10月25日（木）	懇親会申込み締切
11月1日（木）	事前参加登録締切、昼食申込み締切
11月9日（金）正午	発表スライド受付締切
11月10日（土）	第58回近畿産業衛生学会

第5回 研究室訪問のご案内

- 中央労働災害防止協会 大阪労働衛生総合センター（圓藤 吟史所長）
- 日時：2018年8月24日 金曜日 午後4時から5時30分
- 場所：中央労働災害防止協会 大阪労働衛生総合センター
〒550-0001 大阪府大阪市西区西区土佐堀2丁目3-8
- テーマ：～ Safe Work, Safe Life ～

5. ご講演：

健康確保推進事業説明

（健康快適推進室長 平岡 正弘）

分析測定・環境測定事業説明

（分析測定室長 西野入 修）

VEMシステム事業説明

（分析測定室係長 宮内 祐介）

分析室見学

（分析測定室長 西野入 修・
分析測定室長補佐 竹内 靖人）

6. 資料代：500円（当日受付にてお支払いください）

詳細は地方会ホームページ

<https://jsoh-kinki.jp/kinki-10/> をご参照ください。

第91回日本産業衛生学会に参加して

(株) クボタ
人事部・健康管理室

北村 栄作



第91回日本産業衛生学会〔平成30年5月16日～19日、熊本市〕に参加しました。初体験の九州新幹線で熊本駅に到着すると巨大な“くまモン”が出迎えてくれました。繁華街の銀座通りにある宿泊先を目指して市電に乗って花畑町で下車。路面電車は独特の風情で、幼少期によく乗った京都市電を思い出して懐かしいひと時でした。

学会ではシンポジウムを中心に拝聴し、その中で最もインパクトが強かったのは「ストレスチェック制度(SC)3年目の評価」です。先ずSCの効果と方法論の科学的根拠が示されて納得しました。SCに基づく主要対策、高ストレス者へのセルフケア支援と医師面接指導、職場環境改善、それぞれについてのマニュアル・ヒント集・手引き〔厚労省研究事業の成果〕が研究を主担当された演者の方々から解説されて『厚労省のお墨付きで、役立ちそうなガイドライン!』と大いに関心を覚え、帰阪後直ぐに入手して熟読中です。

昼間の学会場での勉強疲れを、夕方から気の合う産業医仲間と語らいながら、郷土料理と地酒を堪能して癒せることが、全国各地で持ち回り開催される当学会に参加する大きな楽しみです。熊本と言えば「馬刺し」。乗馬が趣味の小生にはあるまじき食材ですが、自ら特別許可を与え、桜肉に合う地酒と共に大変美味しく頂きました『合掌』。

熊本を訪れると必ずシンボルの熊本城を訪問していましたので、メイン会場近くから発車する無料シャトルバスを利用して訪いました。平成28年4月の熊本地震で櫓や門など重要文化財に指定されている13の建築物全てに深刻な被害が出た熊本城へのアクセス・エリアは非常に制限されていました。大天守が修復されて鯨が復活したとは言え、小生が『日本で最も壮大で威厳を感じる城』の拠り所「石垣」は方々で崩落したままで非常に遺憾でした。完全修復にはまだ何年もの歳月を要するようですが、被災地域全ての完全復興と共に、熊本城の威容を誇る姿の復活を期待します。

第91回日本産業衛生学会報告

オムロンエクスパートリンク(株)
健康管理課

堀本 綾



今年度の産業衛生学会は「悠かなる産業保健一人と科学技術の連鎖」をテーマに開催されました。壮大なテーマとともに、これからの産業保健を取り巻く環境変化にどう対応していくべきか色々考えさせられた学会でした。

今回の学会で特に印象に残ったキーワードは、「個別化」です。シンポジウム1「人と科学技術の連鎖」において、これからの労働はAIなどの発展により「自動化になじまない労働」だけが残っていく、これは労働の細分化と個別化を意味しているとのことでした。特に裁量労働制、在宅勤務、交代勤務の労働環境は、職務内容、勤務場所、労働時間それぞれにおける「個別化」が急速に進んでいくとのことでした。また、各種健康課題に対する対処法においても、スマートフォンやウェアラブル端末、遺伝子検査などの普及により病院に行かなくても手軽に個人の健康状態が測定できるようになります。測定結果に基づく指導は、AIやICTなどを活用した運動や睡眠、食事、メンタルヘルスなどの個別プログラムシステムの普及によって、健康教育、保健指導内容設定の「自動化」も進んでいます。本学会では、それら「個別測定機器」や「個別健康支援プログラム」などの信頼性や効果判定の評価に関する研究発表をたくさん聴講させていただきました。

これからの集団教育や保健指導は、個別に最適化された内容について個人が時間、場所を自由に選べるような環境において提供されることが必要になってくると感じました。そのような時代背景として、シンポジウムで「個別にカスタマイズした問題・課題に対していかにエビデンスベースのプログラムが提供できるか」が私たち産業保健スタッフの重要な役割になっていくとのことがあり、これがとても印象に残りました。これからは、保健医療知識だけでなく、最先端テクノロジーの知識も吸収し、産業保健活動において効果的に活用できるよう、最新知見の習得に努めていきたいと考えています。

新規入会者（敬称略）

石原 沙季 NS メディカルヘルスケアサービス
 伊藤 遼太郎 京都工場保健会
 入江 寛 (株) 村田製作所 野洲事業所管理部
 石見 拓 京都大学環境安全保健機構
 上西 恵三子 神戸製鋼所健康保険組合
 大竹 恵里 西岡皮フ科医院
 岡田 有紀 パナソニック健康保険組合
 賀川 拓哉 医療法人達磨会 東加古川病院
 片岡 佳樹 (株) 村田製作所 八日市事業所
 兼田 淳子 (株) 島津製作所
 金村 美和 学校法人西大和学園 大和大学
 北川 敬子 NTN (株)
 北川 めぐみ 新日鐵住金 (株) 製鋼所
 木下 喜光 三菱重工 (株) 神戸造船所
 木村 明菜 兵庫県立加古川医療センター
 清川 博貴 独立行政法人 国立病院機構
 倉谷 昂志 一般財団法人 京都工場保健会
 小林 廣之 パナソニック健康保険組合
 坂根 直樹 京都医療センター 臨床研究センター
 笹本 和美 (株) 神戸製鋼所 加古川製鉄所
 属 明子 日鉄住金テックスエージ (株)
 堤田 真紀 任天堂 (株) 人事部
 朽原 篤 パナソニック健康保険組合
 富田 知靖 アスカ技研 (株)
 永森 雅美 西日本旅客鉄道 (株)
 中山 はづき ホロニクスヘルスケア (株)
 西村 明芳 近畿健康管理センター
 朴 勤植 (株) クボタ 枚方製造所
 橋本 光人 ダイハツ保健センター
 馬場 幸子 大阪大学大学院 医学系研究科
 林 安希 (株) クボタ堺製造所
 日野 幸子 日東電工 (株) 茨木事業所 健康相談室
 平間 円 堺化学工業 (株)
 福田 理恵 ダイハツ工業 (株) 保健センター
 藤井 宏 大阪ニッポ健康保険組合保健医療センター
 藤澤 清子 公益財団法人 尼崎健康医療財団
 古川 衣里奈 大阪府立大学地域保健学域 看護学類
 古谷 尚子 (株) 博報堂関西支社
 古谷 祐子 神戸製鋼所健康保険組合
 堀西 千鶴 JXTG エネルギー (株) 堺製油所
 松崎 慶一 京都大学環境安全保健機構 健康管理部門
 松浪 薫 滋賀医科大学
 宮本 泰登 小谷クリニック
 森 貴美代 川崎重工業 (株) 西神戸工場
 山本 純子 一般財団法人 大阪府結核予防会
 山本 遼平 滋賀医科大学大学院
 横田 総一郎 サンスター財団 サンスター診療所
 吉田 公久 神戸労災病院
 吉田 卓矢 三菱電機 (株) 先端技術総合研究所
 吉田 雅美 伊藤忠商事 (株)
 吉武 英隆 パナソニック健康保険組合
 吉持 奈津子 大阪労災病院 治療就労両立支援センター
 和久井 知美 ダイハツ工業 (株) 保健センター

産業看護部会からのお知らせ

○第2回定例研修会のご案内

日 時：2019年2月9日（土）13時30分～16時45分
 予定

会 場：エル・おおさか 本館7階709

内 容：

①懇談会：「産業保健の最近の動向と産業看護職の役割」（仮題）

講師：五十嵐千代 先生 日本産業衛生学会
 産業看護部会部会長

②講 演：「治療就労両立、障害者雇用における合理的配慮～産業看護職が知っておきたいポイントと実践～」(仮題)

講師：辻 洋志 先生（南森町 CH 労働衛生コンサルタント事務所 代表）

○産業保健看護専門家制度委員会認定【基礎研修（Bコース）】申し込みが始まりました！

産業保健看護専門家制度登録者試験合格者を対象に基礎研修を実施いたします。（その他の方で興味のある方はホームページ記載の事務局までお問い合わせください）。ねらいは産業看護の基礎的理解を深め、実務を展開できるようにすることです。本研修を全課程修了すると「産業保健看護専門家制度」の専門家へのステップアップに必要な50単位（専門40単位・実地10単位）を取得できます。2018年度Bコース、2019年度Aコースと2年間で全コースが受講できます。この機会を是非ご活用ください。

日程：2018年8月30日（木）～2018年9月1日（土）

場所：東京工科大学 蒲田キャンパス

費用：部会員：35,000円・学会員：40,000円・非学会員
 50,000円

詳細、申し込みは産業看護部会本部ホームページをご覧ください。

URL: http://sangyo-kango.org/wp/?page_id=42

○産業看護部会入会をお願い

組織の活性化や充実した活動へつなげていくために、一人でも多くの方にご入会いただき一緒に活動できることを願っております。産業看護部会活動費：年2,000円
 入会方法については、日本産業衛生学会近畿地方会ホームページ産業看護部会入会方法をご覧ください。

近畿地方会 HP：

<https://jsoh-kinki.jp/kinki-002/kinki-002-05/>

第23回産業医部会研修会

「2020年にむけて、がんばれ日本の職場のたばこ対策」

日 時：平成30年9月29日（土） 14：00～17：10

場 所：大阪市立大学医学部学舎 4階大講義室（大阪市阿倍野区旭町1-4-3）

対 象：産業医（産業看護職、人事・労務・産業保健実務担当者も可）

主 催：日本産業衛生学会 近畿地方会産業医部会（実行委員長 森山和郎）

共 催：大阪府医師会

後 援：滋賀県医師会、京都府医師会、兵庫県医師会、奈良県医師会、和歌山県医師会
大阪産業保健総合支援センター

(1) 基調講演「東京オリパラにむけて！職場のたばこ対策の展望」

座長：森山和郎（パナソニック（株））

講師：中村正和（地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センターセンター長）

(2) シンポジウム「がんばれ日本の職場のたばこ対策」
座長：中西 一郎（東レ株式会社滋賀事業場健康管理センター）

シンポジスト：

今野由将（新日鐵住金（株）製鋼所）「産業医の立場から」

和久純也（パナソニック健康保険組合）「事業場の立場から」

鈴木美恵子（栗田工業（株））「産業看護職の立場から」

コメンテーター：中村正和

受講料：日本産業衛生学会産業医部会員 無料
産業医部会員以外で、認定産業医単位が必要でない方：2,000円 必要な方：4,000円

定 員：200名（先着順）

研修単位：日本医師会認定産業医 生涯研修（専門）3単位（申請中）

申込方法：（8月1日より受付開始、随時受講票を郵送します。）

氏名、職種、日本医師会認定要不要、連絡先

住所、電話を記載の上、電子メールまたは近畿地方会ホームページからお申し込みください。

メールアドレス：kinki-ohp@ohassist.jp

電子メールが使用できない方はFAX（06-7632-4070）でも受け付けます。

技術部会からのお知らせ

平成30年度研修会が5月12日（土）13：30～16：30に新コスモス電機株式会社トレーニングセンターにて日本医師会認定産業医生涯研修を兼ねて開催されました。テーマは「熱中症を知る！体感する！予防する！」で、京都女子大学名誉教授中井誠一先生に熱中症の歴史と最近の動向についてのご講演を戴いた後、熱中症の温熱環境体験ルームに入ってWBGT値（暑さ指数）の測定を実演し、さらに様々な予防グッズの紹介と解説が行われました。出席者は40名でした。

第91回日本産業衛生学会が熊本市で開催され、5月18日（金）12：00～13：00に技術部会幹事会および5月19日（土）11：00～11：30に総会が開かれました。主な議事内容を以下に記述致します。

- 1) 平成30年度産業衛生技術部会奨励賞受賞者：榊原洋子（愛知教育大学）および海福雄一郎（ガステック）
- 2) 平成29年度産業衛生技術部会事業報告及び決算
- 3) 第91回日本産業衛生学会（熊本）：専門研修会、技術フォーラムの開催
- 4) 第28回日本産業衛生学会全国協議会（東京）：9月14日（金）～16日（日）東京工科大学にて開催予定
- 5) 温熱環境研究会との合同企画開催について前向きに行う
- 6) 日本作業環境測定協会との連携を進める
- 7) その他

平成30年度総会は平成30年11月10日（土）開催の第58回近畿産業衛生学会場にて開催予定です。詳細は次号にてお知らせします。ご出席宜しくお願い致します。

近畿地方会技術部会長 圓藤陽子

編集後記

2018年が明けたな、と思っているうちに2018年も後半戦です。「光陰矢の如し」ですね。5月に熊本で本学会が開催され、6月に近畿地方会総会があり、世界的な出来事としてはトランプ米大統領と金朝鮮労働党委員長による米朝会談が行われ、サッカーW杯ロシア大会も開催されました。日本代表がどうなったのか今（6/15）はまだ「神のみぞ知る」です。

さて、今年は選挙の年ですね。学会員としての権

利を行使し、選挙には積極的に参加しましょう。

（鈴木 純子）

編集委員（50音順）

圓藤 陽子 清原 達也

鈴木 純子（担当理事）

藤岡 滋典（代表幹事）

藤吉奈央子 村田 理絵（代表幹事）